



## エコアクション21

# 環境経営レポート

**2023年度**  
期間**2023年11月～2024年10月**の実績報告

**2025年4月1日発行**



きれいな環境づくりのお手伝いをします

**大分環境プ라이어有限公司**

# 目 次

	(ページ)
1. 環境経営方針	1
2. SDGs宣言	2
3. 事業概要	3～9
許可の内容	
施設・設備等の状況	
処理実績	
推進組織図	
廃棄物処分実績	
処理先フロー	
リサイクル処理の流れ	
本年度の主要な環境経営計画内容と次年度の環境経営計画	
4. 環境経営目標と取組結果	10～13
環境経営目標と取組み結果	
環境活動の取組み事例集	
環境教育の様子 取組み結果	
5. 環境関連法規の遵守結果及び違反・訴訟等の有無	14
6. 代表者による見直しの評価と指示	14


# 大分環境プ라이어有限公司 環境経営方針

## 環境理念

私たちは、地球や地域の環境に配慮した環境経営に取り組んでいく事が環境の業に携わる業者としての責務と考え、社員全員がこの環境方針を周知し、廃棄物の適正処理をはじめ、省資源、省エネルギー、地域環境保全などの活動を通じて、環境コミュニケーションによる人間成長、地球環境にやさしい事業者を目指す事をここに誓約致します。

## 行動指針

当社は、廃棄物の収集運搬及び中間処理の業務を通じ、環境理念に基づき、社員ひとりひとりが「**きれいな環境づくりのお手伝い**」の精神で環境に配慮した社会のお役に立てられる以下の活動を継続的に取り組みます。

- 1 企業活動を通じて社会課題の解決に取り組み、 SDGs 達成に向けて貢献して行きます。
- 2 事業活動における各種環境関連法規を遵守します。
- 3 社員一人一人が使用量削減に向けて、燃料管理・PDCAを積極的に実践します。
- 4 廃棄物削減の為に分別リサイクルと自社でのマテリアルリサイクル処理。
- 5 事務所、処理施設における電気使用量の削減に努めます。
- 6 上水道、地下水資源の節水の取組みと作業場における雨水の有効活用。
- 7 事業所周辺における地域環境保全活動を当社の重点活動として取組み、地域社会の環境美化の貢献とコミュニケーション推進。
- 8 環境にやさしい物品のグリーン購入の推進。
- 9 当社の環境への取組みをまとめた「環境経営レポート」をより多くの方々へ知っていただく為にホームページをはじめ、日々の事業活動で広く公開して行きます。
- 10 環境経営における活動を通して、更なる「会社」と「人」の質の向上に努めます。

2009年 8月 1日制定  
2010年 11月 1日改定  
2011年 11月 1日改定  
2013年 11月 1日改定  
2016年 11月 1日改定  
2019年 11月 1日改定  
2023年 11月 1日改定

大分県大分市大字大分5001番地

大分環境プ라이어有限公司

代表取締役 後 藤 雅 彦



大分環境プライヤー有限公司



SDGs 宣言

2022年4月1日

大分環境プライヤー有限公司

代表取締役 後藤 雅彦

## SDGs 達成に向けての当社の取り組み

弊社は、持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、環境の業に携わる企業として、持続可能なよりよい未来を築くことを目標に、私たち一人ひとりにできることをしっかりと考え、少しでも改善の方向へ進められる取り組み・行動を事業活動の中で推進してまいります。

### 1. 廃棄物の適正処理とリサイクル

- ・ 廃棄物の適正な分別と、適正処理
- ・ 廃棄物をできるかぎりリサイクル処理をし、資源へ



SDGsとは

SDGs：持続可能な開発目標は、「誰一人残さない」

持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標です。2015年の国連サミットにおいてすべての加盟国が合意した「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の中で掲げられました。2030年を達成年限とし、17のゴールと169のターゲットから構成されています。

### 2. 環境負荷の削減への取り組み

- ・ 一番負荷の大きい燃料使用量削減への取り組み
- ・ 電気使用量の削減の取り組み
- ・ 水使用量削減の取り組み
- ・ 環境にやさしいグリーン購入の推進
- ・ エコ活動 廃棄物を出さない取り組み



### 3. 地域社会貢献活動

- ・ 近隣地域の美化活動（掃除・ごみ拾い・不法投棄を除去）
- ・ 草刈り美化活動
- ・ 地域の力、助けとなる活動・サポート



### 4. 「会社」の成長と「人」の成長

- ・ 安全衛生の取り組み
- ・ 業務に必要な教育の実施
- ・ 働きやすい職場環境づくりの推進
- ・ お客様、社会に貢献できる、お役に立てられる、喜ばれるお仕事を



### 3. 事業概要

- 1) 事業者名及び代表者 大分環境プ라이어有限公司  
代表取締役 後藤 雅彦
- 2) 法人設立年月 1993年 11月 1日
- 3) 所在地 〒870-0843  
(本社) 大分県大分市大字大分5001番地

- 4) 環境管理責任及び事務局 賀来事業所

- 5) 連絡先 連絡担当者 賀来事業所  
TEL : 097-544-0053  
097-549-1300  
FAX : 097-549-1310  
E-mail : pliers@apricot.ocn.ne.jp  
ホームページ : <https://www.oita-k-plier.com/>



↑  
ホームページを  
ご覧になれます

- 6) 事業内容
- |       |  |
|-------|--|
| 本社    | 大分市大字大分5001番地<br>経理・総務   |
| 賀来事業所 | 大分市大字賀来中尾9-1<br>一般廃棄物及び産業廃棄物収集運搬<br>産業廃棄物の中間処理<br>(選別施設・圧縮施設・圧縮梱包施設) |
| 津守事業所 | 大分市大字津守字礪場<br>一般廃棄物 民間委託業務<br>産業廃棄物 中間処理<br>(破碎施設)                   |
| 元町事業所 | 大分市大字大分5001番地<br>一般廃棄物 民間委託業務  |

- 7) 事業規模
- |      |  |
|------|--|
| 資本金  | 5百万円   |
| 従業員  | 33名 (2023年度)                                       |
| 売上高  | 145百万円 (2023年度)                                    |
| 床面積  | 49.22㎡ (賀来) 10.4625㎡ (津守)<br>220㎡ (本社) 16.25㎡ (元町) |
| 敷地面積 | 1,272㎡ (賀来) 642㎡ (津守)<br>919㎡ (本社・元町)              |

※エコアクション21対象範囲 全組織・全事業所



## 8) 事業年度

11月～翌10月

## 9) 優良性判断に係る情報公開

## ア) 許可の内容

事業系区分	許可区域	年月日		許可項目	許可番号
一般廃棄物 収集運搬業 (事業系ごみ)	大分市	許可年月日	2025・4・1	事業系ごみ	4148
		有効年月日	2027・3・31		
		許可年月日	2025・4・1	特定家庭用 機器廃棄物	4148
		有効年月日	2027・3・31		
	由布市	許可年月日	2025・4・1	事業系ごみ	307002
		有効年月日	2027・3・31		
産業廃棄物 収集運搬業	大分県	許可年月日	2024・1・12	燃え殻・汚泥・廃油・廃酸・廃アルカリ・紙くず・廃プラスチック類・木くず・繊維くず・ゴムくず・金属くず・ガラス・陶磁器くず・がれき類	04402013129
		有効年月日	2029・1・11		
	大分市	許可年月日	2024・1・19	燃え殻・汚泥・廃油・廃酸・廃アルカリ・廃プラスチック類・木くず・繊維くず・ゴムくず・金属くず・ガラスくず及び陶磁器くず・がれき類・紙くず	08810013129
		有効年月日	2029・1・11		
積替保管施設	大分市	許可年月日	2024・1・19	木くず・紙くず・廃プラスチック類・繊維くず・金属くず・がれき類・ガラス・陶磁器くず	08820013129
		有効年月日	2029・1・11		
産業廃棄物 処分業 (選別) (圧縮) (破碎) (圧縮梱包)	大分市	許可年月日	2021・11・2	廃プラスチック類・金属くず・ガラス及び陶磁器くず	08820013129
		有効年月日	2026・10・25		

## イ) 施設・設備等の状況

## ・ 運搬車両の種類と台数 (2021年度)

許可車両	車 種	台数
運搬車両 合計22台	4 t 脱着装置付コンテナ車	1台
	3 t ユニックダンプ車	1台
	4 t 深ダンプ車	1台
	4 t 塵芥車 (回転式)	2台
	4 t 塵芥車 (プレス式)	2台
	3 t 塵芥車 (回転式)	12台
	4 t バキューム車	1台
	トラック (キャブオーバー)	1台
	軽トラック	1台
その他車両	バックフォー	1台
	普通自動車 (営業車)	1台

・ 積替保管施設の面積と保管上限量

所在地 大分県大分市大字賀来中尾9番1

面積 70.33㎡

容積 76.69㎡

産業廃棄物の種類 木くず、紙くず、金属くず、廃プラスチック類、繊維くず、がれき類、ガラスくず及び陶磁器くず  
(以上7種類。ただし、石綿含有産業廃棄物及び水銀含有ばいじん等を含まず、水銀使用製品産業廃棄物を含む。特別管理産業廃棄物であるものを除く。)

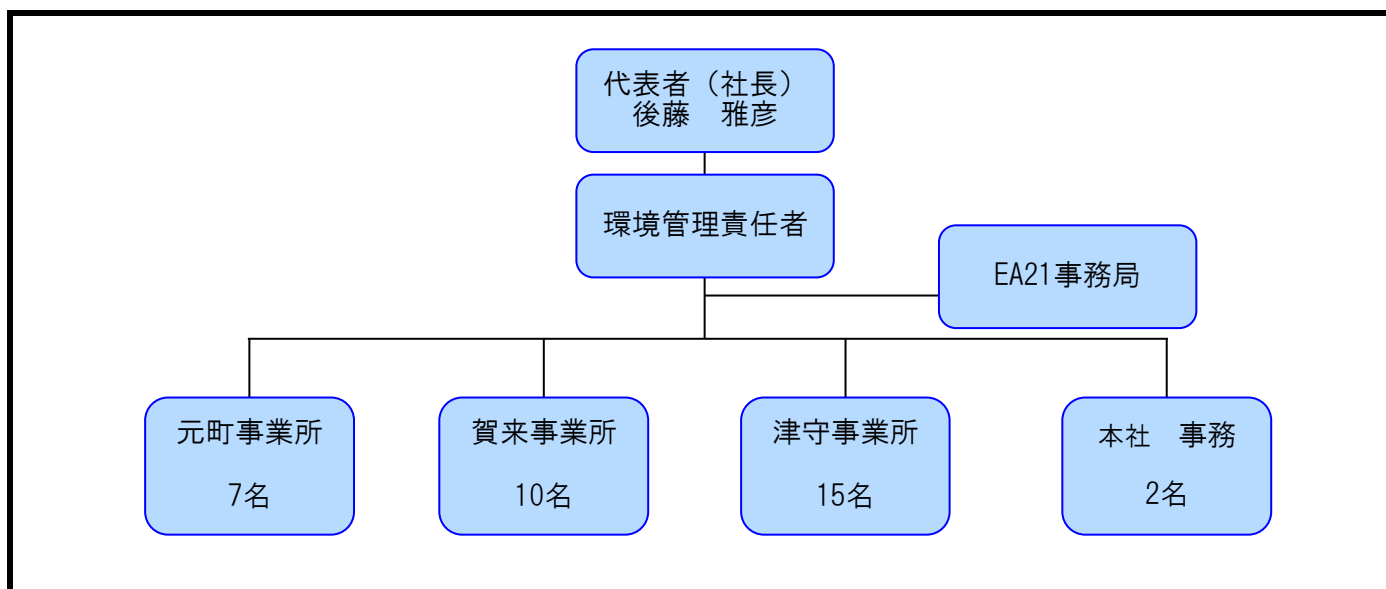
・ 処分施設の種類

施設の 種類	設置場所	設置年月日	処理能力	廃棄物の種類	処理方式
選別施設	賀来事業所	2006・9・4	3.38 t / 日 (8H / 日)	・ 廃プラスチック類 ・ 金属くず ・ ガラスくず及び 陶磁器くず	選別
圧縮施設	賀来事業所	2006・9・4	2.08 t / 日 (8H / 日)	・ 廃プラスチック類 ・ 金属くず ・ ガラスくず及び 陶磁器くず	圧縮
破碎施設	津守事業所	2007・1・25	2.4 t / 日 (8H / 日)	・ 廃プラスチック類 ・ ガラスくず及び 陶磁器くず	破碎
圧縮梱包 施設	賀来事業所	2016・3・24	3.96 t / 日 (8H / 日)	・ 廃プラスチック類 ・ 金属くず	圧縮梱包

ウ) 処理実績

・ 廃棄物処分実績参照 (6ページ)

エ) 推進組織図



## 廃棄物処分実績

### 産業廃棄物

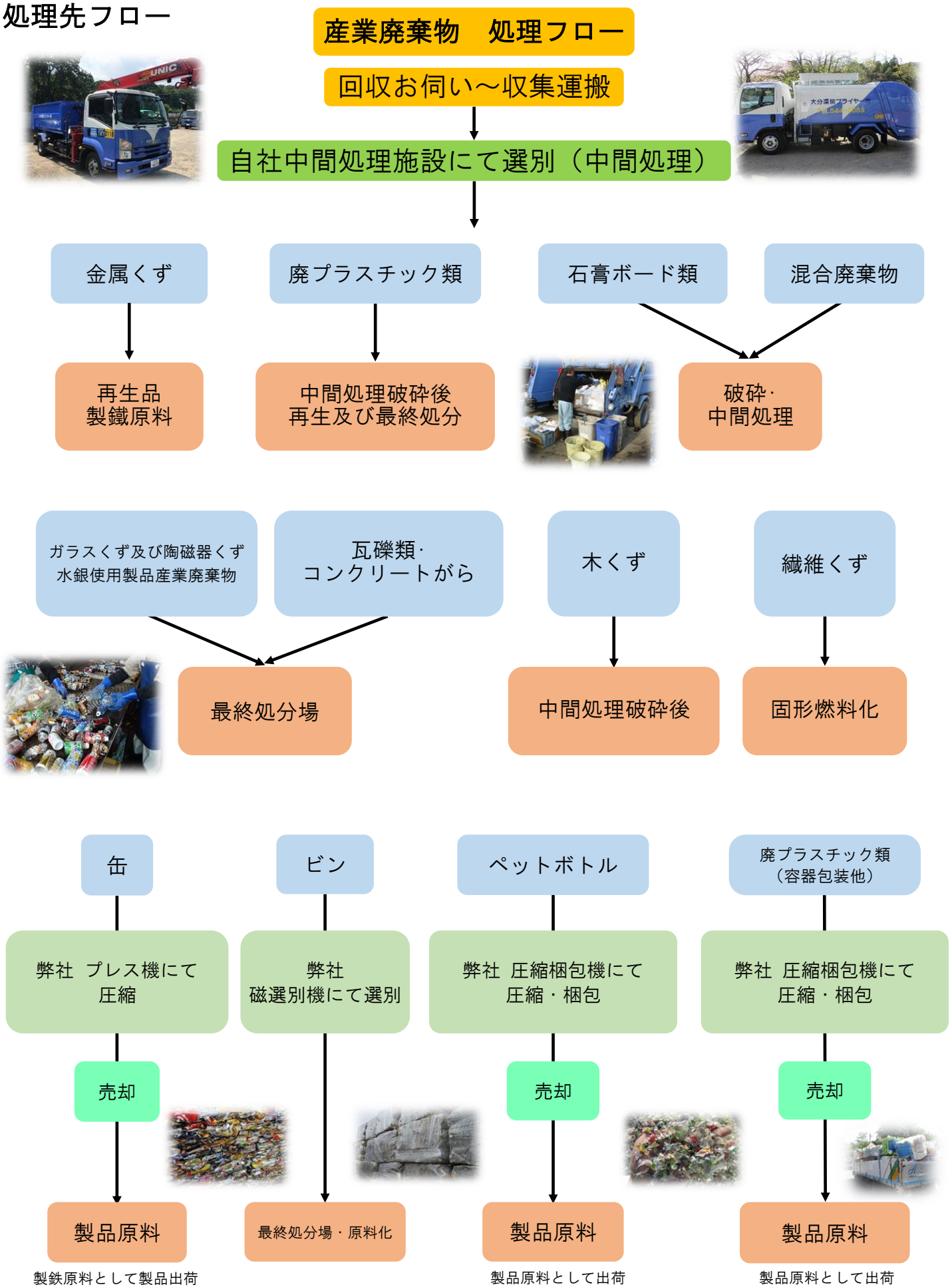
処分方法等	廃棄物等種類	処分方法	処理量（t）
収集運搬	汚泥		89. 59
	廃プラスチック類		566. 20
	紙くず		0. 63
	木くず		51. 72
	金属くず		315. 87
	ガラスくず及び陶磁器くず		31. 47
	がれき類		38. 46
	廃電池		0. 05
	水銀使用製品		8. 75
	混合廃棄物		8. 85
収集運搬量合計			1, 111. 58
中間処理	廃プラスチック類	選別	67. 95
	金属くず	選別・圧縮	77. 66
	ガラスくず及び陶磁器くず	選別	7. 94
中間処理小計			153. 55
内資源化	廃プラスチック類	選別・破碎後圧縮固化	24. 46
	廃プラスチック類	選別後原料として再利用	22. 22
	金属くず	選別・破碎原料化	67. 41
	金属くず	選別・圧縮後原料化	10. 25
再資源化等量小計			124. 34
中間処理後の 産業廃棄物	廃プラスチック類	埋立（委託）	21. 27
	ガラスくず及び陶磁器くず	埋立（委託）	7. 94
最終処分量合計			29. 21

### 一般廃棄物

処分方法等	廃棄物等種類	処分方法	処理量 (t)
収集運搬	可燃ごみ	焼却（熱回収）	10,085.02
	不燃物	原料として再利用	431.73
	ダンボール・古紙類	原料として再利用	195.26
	缶・ビン	原料として再利用	961.30
収集運搬量合計			11,673.31



処理先フロー



廃棄物の種類ごとに適正処理～リサイクルに努めております



## リサイクル処理の流れ

産業廃棄物処分業許可

中間処理（選別、圧縮、破碎、圧縮・梱包）



収集運搬



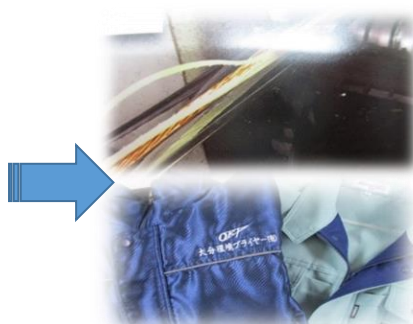
自社にて選別処理



中間処理（圧縮、破碎、圧縮・梱包）



製品原料として出荷

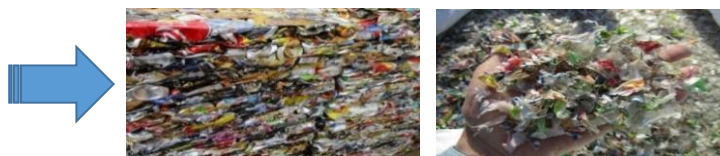


樹脂原材料として加工  
非鉄・金属・プラスチック  
繊維原料としてリサイクル

## リサイクル処理物（廃棄物の一例）



缶・びん・ペットボトル、鉄、アルミ、PE、PP

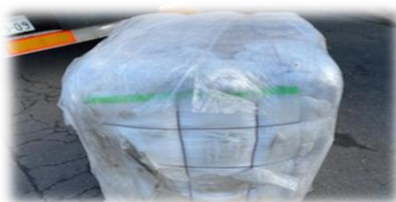


圧縮、破碎、圧縮・梱包



廃プラビニール類、PPバンド、フレキシブルチューブ、ABS板などのエンジニアリングプラ

破碎品



圧縮・梱包品



樹脂原料として製品化リサイクル



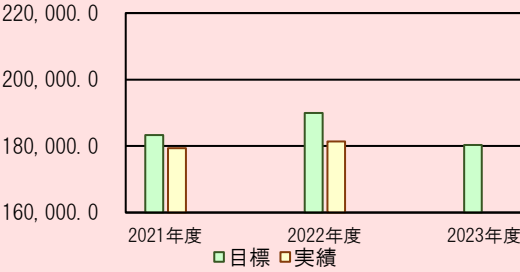

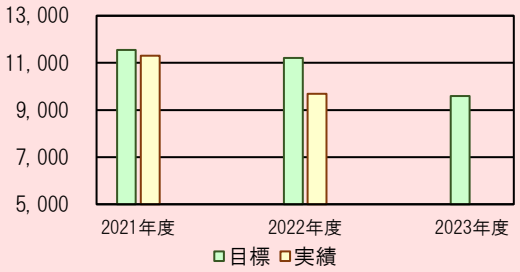

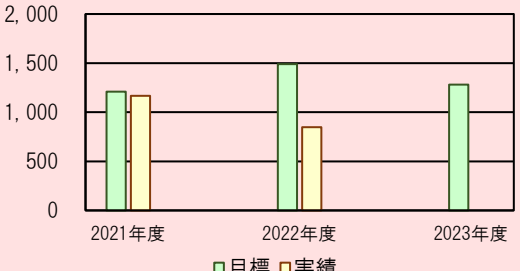

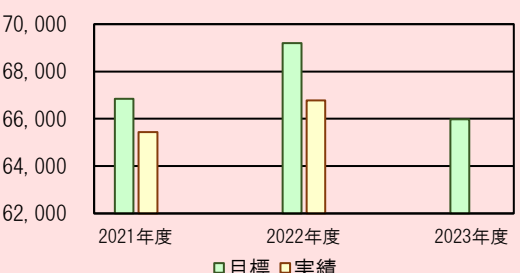




## 本年度の主要な環境経営計画内容と次年度の環境経営計画

	項 目	該当事業所		
		賀来事業所	元町事業所	津守事業所
1.	二酸化炭素排出量の削減			
	①電気使用量の削減			
	・未使用区域の電気消灯の徹底で従業員の意識向上 	○	○	○
	・電気器具、換気扇等の不使用時停止	○	○	○
	・室内温度状況に見合った冷暖房器具の使用	○	○	○
	②燃料使用量の削減			
	・社員へのエコドライブの啓発活動 定期 	○	○	○
	・配車の検討、ルート収集検討 必要時	○	○	○
	・車両の燃料使用量のチェックと、走行メーターチェック 毎月	○	○	○
	・燃料使用量削減目標管理表の管理	○	○	○
2.	廃棄物の分別徹底による再資源化率の向上			
	・リサイクル率の把握・毎月の処理状況をチェック 毎月	○		
	・収集ルート時の分別回収の取組・お客様への提案 	○		
	・事務所より出される廃棄物の分別徹底 定期	○	○	○
	・裏紙の有効活用～裏紙の確保	○	○	○
	・場内片付け廃棄物の管理、社員への選別の啓発活動 定期	○	○	○
	・廃プラ・金属・雑品・コンテナの管理	○		
3.	水資源使用量の削減			
	・車両の洗車記録の確認、点検表の啓発 定期	○	○	○
	・洗車時間の短縮・水使用量削減の啓発活動 定期 	○	○	○
	・水漏れ防止点検 定期	○	○	○
	・雨水の有効活用と、雨水貯留タンクの管理 定期	○		
	・洗車排水槽定期清掃 定期	○		○
4.	グリーン購入			
	・エコマーク商品の購入 	○	○	○
	・詰替商品の購入	○	○	○
5.	環境教育の取組み 			
	・従業員への社内教育の実施 年2回(2・9月)	×		○
	・環境美化活動毎月スケジュール等段取り 毎月	×	×	○
	・近隣地域のごみ拾い活動 作業段取りと道具準備 毎月1回	×	×	○
	・環境美化草刈活動 作業段取りと道具準備 年3回(5・7・9月)	○	○	○
	・事業所場内の美化、5S活動 定期	○	○	○
	・事務所周りの清掃(トイレ含む)、環境美化の取組み	○		○
	・エコアクションタイムの実施(週1回)	○	○	○

## 4. 環境経営目標と取組み結果

### 目標と結果

目標と取組み結果			2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
CO2	目標	CO2排出量 (kg-CO2)	183,264.6	189,943.8	180,273.4	183,103.3
	実績		179,361.0	181,386.6	177,175.8	
	評価達成率		102.18% ◎	104.72% ◎	101.75% ◎	
 <p>2021年度 2022年度 2023年度</p> <p>■ 目標 ■ 実績</p>			<b>目標達成</b> 電力が削減出来なかったが、ガソリン、軽油を削減出来たので目標をクリア出来た。年々作業環境が厳しくなっていく中での取組みだけに、削減、クリア出来たので安堵している。来期もPDCAをしっかりと行って取組み、Co2削減に貢献したい。			 近隣地域の自然環境にも配慮して作業を行います。
電力	目標	使用量 (kWh)	11,544.4	11,203.1	9,589.3	10,317.4
	実績		11,301.9	9,686.2	10,013.6	
	評価達成率		102.15% ◎	115.66% ◎	95.76% ×	
 <p>2021年度 2022年度 2023年度</p> <p>■ 目標 ■ 実績</p>			<b>目標未達</b> 3事業所ともに目標をクリア出来なかった。事務所内では夏場の猛暑、酷暑で体調面を考慮し、継続してエアコンを使用し電力増になった。場内作業は常に作業機を使用する状況になり、工夫し作業を行ったが、削減には繋がらなかった。			 昼休みは消灯して、削減に取り組んでいます。
ガソリン	目標	使用量 (L)	1,210.0	1,490.0	1,280.0	1,190.0
	実績		1,166.2	846.4	880.0	
	評価達成率		103.75% ◎	176.04% ◎	145.45% ◎	
 <p>2021年度 2022年度 2023年度</p> <p>■ 目標 ■ 実績</p>			<b>目標達成</b> 津守事業所で使用していた車両を2月末で廃車したので、結果として削減が出来た形になった。しかしながら、各事業所1台ずつ所有していた車両を2台で使用する為、使用量は大きく削減には至らなかった。			 各事業所で車輛事に目標を設定し、削減に取り組んでいます。
軽油	目標	使用量 (L)	66,841.2	69,202.7	65,982.3	67,013.7
	実績		65,432.8	66,774.0	65,079.3	
	評価達成率		102.15% ◎	103.64% ◎	101.39% ◎	
 <p>2021年度 2022年度 2023年度</p> <p>■ 目標 ■ 実績</p>			<b>目標達成</b> 3事業所全体では目標をクリア出来たが、事業所ごとでは賀来事業所のみ年間目標をクリア出来なかった。日々の回収作業が多岐にわたる為、使用量も多くなる傾向だが、各自が使用量を把握し、PDCAをしっかりと行い、削減に取り組んでもらいたい。委託業務の元町・津守事業所は年間での削減が出来た為、結果3事業所のクリアに繋がった。引き続き良い取組みを続けて欲しい。			 出発前に安全点検・一周点検を行い、車輛に異常が無いか確認しています。

目標と取組み結果			2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
再資源化	目標	リサイクル率(%)	80.2	85.4	85.4	76.0
	実績		84.5	81.8	76.0	
	評価達成率		105.40% ◎	95.78% ×	89.07% ×	
<div><div><div>90</div><div>85</div><div>80</div><div>75</div></div><div><div><div></div><div></div><div></div></div><div><div>2021年度</div><div>2022年度</div><div>2023年度</div></div><div><div>■目標</div><div>■実績</div></div></div></div>			<div><div>目標未達</div><div>目標をクリア出来なかった。リサイクル品目以外の出荷・処理が非常に多く、リサイクル率を下げる結果になった。廃棄物の回収内容は昨季と変わりはないが、リサイクル品目となる廃棄物が少なかったのが要因かと思う。今後も一人一人が適正分別をしっかりと行い、リサイクル率を上げていきたい。</div></div>			<div><div></div><div>多量の廃棄物ですが、今後も適正分別に努めます。</div></div>

水資源	目標	使用量(m <sup>3</sup> )	161.1	164.6	123.8	126.0
	実績		179.6	126.1	126.0	
	評価達成率		89.70% ×	130.51% ◎	98.21% ×	
<div><div><div><div><div><div></div><div>2021年</div></div><div>度</div></div><div><div><div><div><div></div><div>2022年</div></div><div>度</div></div><div><div><div><div></div><div>2023年</div></div><div>度</div></div></div><div><div><div>■目標 ■実績</div></div></div></div></div></div></div></div>			<div>目標未達</div> <div>前期同様、夏場に熱中症対策として、冷風扇、ミスト扇風機等を熱中症対策品をフル活用する為、使用量増となるので、車輛の洗車・洗浄時間の削減、洗濯の回数を約2日に1回にまとめる等の取組みを引き続き行い、削減に繋げた。結果は目標に対し、微増となったが、来季も同様の取組みで節水意識を持って削減に努めたい。</div> <div><div><div>4 4.1.1 環境教育</div><div>5 5.1.1 環境教育</div><div>7 7.1.1 環境教育</div><div>11 11.1.1 環境教育</div><div>12 12.1.1 環境教育</div><div>13 13.1.1 環境教育</div><div>14 14.1.1 環境教育</div><div>15 15.1.1 環境教育</div></div></div> <div><div></div><div>毎月月末には水漏れが無いかチェックを行っています。</div></div>			

グリーン購入	目標	購入数(個)	44.0	44.0	42.0	42.0
	実績		51.0	49.0	49.0	
	評価達成率		115.91% ◎	111.36% ◎	116.67% ◎	

60.0

40.0

20.0

0.0

2021年度

2022年度

2023年度

■目標 ■実績

2021年度

2022年度

2023年度

目標達成

前期からエコマーク認定商品も購入対象とした為、購入がスムーズに行えた。業務用の大容量も引き続き率先して購入し、ボトル容器から購入を極力控え、資源の削減に努めた。来期も環境に優しい商品、購入を意識していく。

環境教育	2023年12月		2024年2月・9月	
	内容	■一般教育 「安全運転管理者講習に参加しての内容を教育」	内容	■専門教育 ■緊急危険時対応訓練及び教育
	実施	実施出来た	実施	実施出来なかった
	13ページに詳細をまとめる		業務多忙により実施出来なかった	

係数0.462 2022年度(調整後係数 九州電力)  
 二酸化炭素総排出量は177,581.55kg-CO2  
 (灯油、LPGを含む)



## ■ 環境活動の取組み事例集



当社も、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、環境の業に携わる企業として、持続可能なよりよい未来を築くことを目標に、私たち一人ひとりにできることをしっかりと考え、少しでも改善の方向へ進められる取り組み・行動を事業活動の中で推進してまいります。

### ■ 廃棄物適正処理



適正分別後、品目ごとに処分業者に最終処分をお願いしています。

### ■ 廃棄物のリサイクル



選別した廃棄物をリサイクル品目として処理をお願いしています。



アルミ缶・スチール缶はプレス機で圧縮をしています。



リサイクル品目を圧縮し、出荷出来るよう作業を進めています。(ペット)



圧縮したリサイクル品を出荷する事で、再資源化に貢献します。

### ■ 安全管理者から



安全対策等、様々な啓発POPを掲示する事で安全意識向上に繋げてます。

### ■ 教育

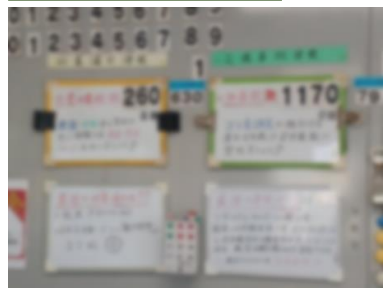


今年度は各事業所にて「安全運転講習」を実施しました。(元町事業所)



津守事業所での講習。講習内容を日頃の運転に反映します。

### ■ 安全・確実第一に



事故、回収漏れが無かった日数を掲示しています。

### ■ 環境美化活動・草刈活動

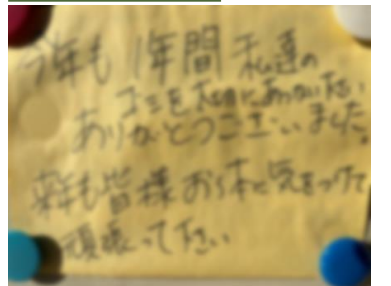


毎月1回のゴミ拾い活動。広範囲に活動を行うので、ボランティア袋が一杯になります。



使用させて頂いてる駐車場は特に念入りに草刈を行います。

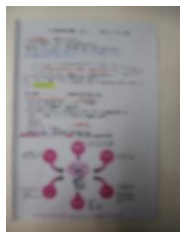
### ■ お礼のお言葉



市民の方から作業に対してお礼のお言葉を頂きました。ありがとうございます。

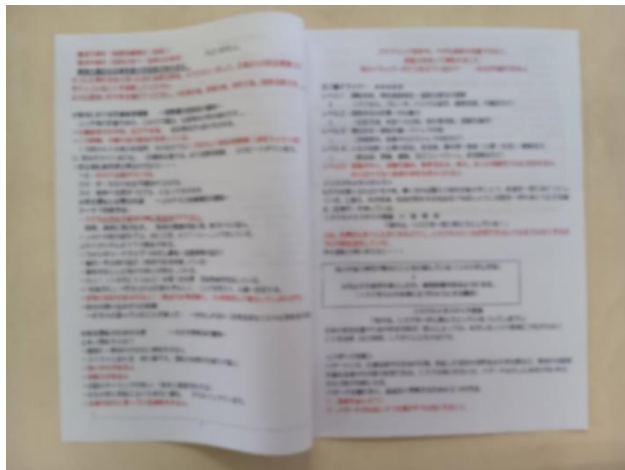


## ■ 環境教育の様子 取り組み結果



2023年12月に「安全運転管理者講習に参加しての内容を教育」と題し、講習内容を各事業所ごとで教育。  
事故を起こす事が無いよう、事故防止啓発文書を作成し教育。  
結果、交通事故の重大さ、悲惨さを全員が再確認。全員が安全運転の

※①～③は賀来事業所での教育写真 ④は元町事業所での教育写真 ⑤～⑥は津守事業所での教育写真



①安全運転について説明。



②安全運転管理者から教育。皆真剣に教育を受けた。



③安全運転に対しての意識向上に繋がった。



④元町事業所での教育。日頃の自身の運転マナーも大丈夫か確認した。



⑤津守事業所での教育。副安全運転管理者から教育を受けた。



⑥回収箇所も多い為、回収先でのトラブルも教育時に確認出来た。

5. 環境関連法規の遵守結果及び違反・訴訟等の有無

(評価)  
○：法規制等に適合、  
△：法規制等から逸脱の可能性  
×：法規制等から逸脱している

H・・・法律　K・・・法律施行規則　R・・・法律施行令　分類記号の意味：適＝法規制の適用を受ける、努＝法規制はあるが努力義務						
設備、業務、取扱物質名	法規制等	適用条項等	主な内容	当社の対応	評価	
浄化槽の使用 (30人槽)	浄化槽法	H5条 浄化槽の設置届出	設置又は構造の変更する者は知事に届ける	浄化槽の変更の際は指定業者に依頼し、業者をとおして、市長に報告する	○	
汚水の排水		H7条、11条 法定検査	指定検査機関の水質検査（1回/年）及び法定検査記録の保管（3年間）	(財)大分県環境管理協会に検査を依頼する	○ 4月済	
浄化槽水処理剤の使用		H8条、規則2.5条、 H10条、保守点検	知事の登録を受けた者に委託	福喜工業㈱に点検と清掃を依頼する (3ヶ月に1回点検、年1回以上清掃)	○	
		H9条、規則3.5条、H10条、清掃	市町村の許可を得た浄化槽清掃業者に委託 ・清掃記録の保管（5年間）	清掃記録の保管（5年間）	○ 11月済	
【廃棄物の収集運搬】 【廃棄物の処理】	・廃棄物処理法 ・市環境基本条例 ・大分市廃棄物処理法 ・大分県廃棄物処理法	H7条　・一般廃棄物の収集・運搬業の許可	・一般廃棄物収集運搬業許可書	①許可証確認（1月/年1回） ・2年ごとの更新	○	
		H14条　・産業廃棄物の収集・運搬業の許可	・産業廃棄物収集運搬業許可証	①県知事許可書確認（1月/年1回） ・5年ごとの更新	○	
		H12条　・排出事業者との収集・運搬、処分の個別委託契約の締結	・委託契約の締結	③委託契約書の締結確認（4月/年1回）	○	
		H12条-3　-2 ・管理票（マニフェスト）の交付	・運搬受託者は運搬を終了した時管理票を交付した者に写しを送付する	④記載内容・排出事業者への報告（1回/月）	○	
		・所定事項を記述した帳簿の5年間保管		⑤保管確認（4月/年1回）	○	
		・廃棄物の分別、保管、収集、運搬、再生、処分等の適正処理の遵守		⑥適正処理の遵守状況確認（1回/月）	○	
	・事業所系一般廃棄物の発生 ・一般ごみの発生  産業廃棄物の発生  ・廃プラ  ・金属くず  ・ガラスくずおよび陶磁器くず	廃棄物の処理及び清掃に関する法律  (廃棄物処理法)	H12条3-1 地方公共団体への協力	廃棄物の減量その他その適正な処理の確保等に関する地方公共団体の施策にへの協力	・条例に定められた処理施設への運搬	○
			H6条2 一般廃棄物処理の委託	運搬または処分は定められた業者に委託する		
		H12条2　K8条1 産業廃棄物の保管	・産業廃棄物が、運搬、処分するまでの保管義務、保管基準（60×60cmの掲示板設置等）	・分別回収 ・表示板の設置	○	
		H12条3, 4, 5R6条2 K8条2, 3, 4, 4-2	・産業廃棄物の運搬、収集、処理の委託基準に適合したそれぞれの業者との委託契約書の締結	・それぞれの業者との契約書 ・それぞれ業者の許可証の写し	○	
		・産業廃棄物処理の委託	・委託契約書に添付すべき書面（許可証等）	・有効期限の厳守	○	
		・委託の基準	・委託契約に含まれるべき事項	・運搬、収集業者　自社 ・処分業者　自社にて中間処理		
		R6条2-4　K8条4-3 委託契約書の保存期間	契約書は契約終了の日から5年間保存する	保存期間順守	○	
		R6条2-5　K8条4-4 承諾に係る書面の写しの保存期間	書面の写しは承諾日から5年間保管する	保存期間順守	○	
		H12条3-1, 5, 7, 8 K8条21, 26, 28, 29 産業廃棄物管理票（マニフェスト）	・マニフェストの交付、保存、送付内容確認、不適切な状況に対する処置 ・管理票交付日からB2票及びD票は90日以内、E票は180日以内に受領・期限内に受領出来なかったら知事に報告する	・マニフェストの交付・保管 ・照合確認欄への受取月日記載	○	
		K8条27 （管理票交付者の報告書）	・事業場ごとに、毎年6月30日までに、その年の3月31日以前の1年間において交付した管理票の交付等の状況を当該事業場の所在地を管轄する都道府県知事に提出する。	報告書（様式3号）の作成、提出	○	
特定家庭用機器再商品化等の促進に関する法律 （家電リサイクル法）		H6条　関係者の責務 R-1(対象品目機種)	・廃棄物として排出する場合は、運搬する者等に適切に引渡し、料金の支払い ・冷蔵庫、ユニット型エアコン、洗濯機、テレビ	・長期使用 ・廃棄の際、指定業者にリサイクル料金を支払う	○	
水銀使用製品産業廃棄物の廃棄		水銀による環境の汚染の防止に関する法律 （廃棄物処理法）	H2条4項	水銀使用製品の収集運搬、処分を行う場合には、産業廃棄物処理業の事業範囲の変更などの手続きが必要。（許可更新時に手続き済み）	収集運搬基準、積み替え保管基準、処理基準に準じた対応。	○

「環境関連法規への違反、訴訟等はありません。尚、関係当局の違反・訴訟等の指摘は過去3年間ありません」

6. 代表者による見直しの評価と指示

2023年度が終わりました。評価の振り返りですが、近年環境マネジメントの取り組み・活動が様々な状況から十分な活動ができずの状態が続いております。取得当初のように環境負荷の削減や地域貢献に対して色々な事を考え、話し合い、社員全員で気持ちよく活動していくスタイルを初心に帰り環境管理責任者が先頭に立ち、アクションを起こしてまいりましょう。この努力が、廃棄物を扱う環境の業としての地域社会への貢献、会社・人の成長につながると思います。

- ・今年度の結果から環境目標を見直し、取り組み計画を組む。実践する。
- ・EA-21ミーティングを実施して、コミュニケーションを図り、社員共有のもと活動。
- ・環境管理責任者のエコアクションタイムを設け、事務、計画を図る。
- ・電気使用量の削減と水資源使用量の削減に向け1年間取り組みましょう。
- ・自社中間処理のリサイクル（質・量）を高めて参りましょう。
- ・教育と地域貢献活動を重点として、企業価値を高めて参りましょう。





**「持続可能な社会のために!!」**  
未来を思う心で私たちは社会に貢献し、全社員で大切な取り組みを進めてまいります。